

4. 住宅建設

住宅建設は、このところ横ばいとなっている。

(前年同期(月)比、()内は季調済前期(月)比、%)

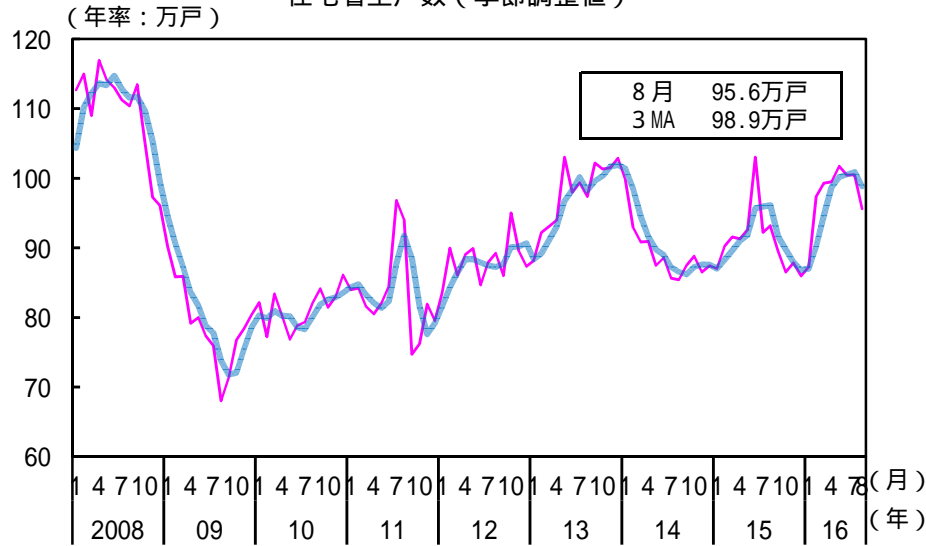
	[2014年] 2014年度	[2015年] 2015年度	2015年10 - 12月	2016年1 - 3月	4 - 6月	2016年6月	7月	8月
新設住宅着工戸数 (万戸) (万戸)	[89.2] 88.0	[90.9] 92.1	86.8	94.7	100.5	100.4	100.5	95.6
	[9.0] 10.8	[1.9] 4.6	(5.3) 0.7	(9.1) 5.5	(6.2) 4.9	(1.3) 2.5	(0.1) 8.9	(4.9) 2.5
建築主が民間	[9.4] 10.9	[2.6] 5.3	(1.6) 0.1	(6.7) 6.0	(13.2) 4.2	(2.3) 3.3	(1.2) 9.7	(5.6) 2.3
持家	[19.6] 21.1	[0.7] 2.2	(6.0) 0.2	(8.9) 1.7	(1.7) 2.1	(2.9) 1.1	(1.3) 6.0	(3.1) 4.3
貸家	[1.7] 3.1	[4.6] 7.1	(10.3) 1.3	(7.3) 6.0	(10.5) 11.0	(2.3) 3.7	(6.8) 11.1	(1.1) 9.9
分譲	[10.0] 8.9	[1.6] 4.5	(0.9) 3.6	(11.0) 9.3	(5.9) 0.5	(6.2) 15.2	(8.4) 9.1	(12.4) 12.7
戸建・長屋建	[7.1] 7.2	[1.3] 1.7	(0.5) 3.7	(6.1) 8.9	(0.6) 9.2	(5.7) 1.2	(10.0) 11.8	(6.0) 5.5
共同建て	[13.2] 10.7	[4.8] 7.6	(1.0) 11.6	(20.6) 9.7	(9.1) 8.5	(0.0) 28.1	(29.1) 5.3	(18.0) 31.8
着工床面積	[13.2] 15.2	[0.8] 2.1	(4.8) 1.5	(8.1) 3.1	(5.7) 3.1	(2.5) 3.0	(1.0) 6.2	(4.3) 2.3
建築主が民間	[13.6] 15.3	[0.4] 2.6	(4.4) 1.1	(8.3) 3.5	(4.9) 2.7	(2.7) 3.6	(0.3) 6.8	(4.6) 2.2
工事費予定額平米単価 (万円) (万円)	[18.1] 18.2	[18.7] 18.8	18.5	19.0	19.0	18.9	18.5	18.7
	[4.5] 4.1	[3.2] 3.0	2.0	2.1	0.1	1.0	0.2	0.5

(備考) 国土交通省「建築着工統計」により作成。

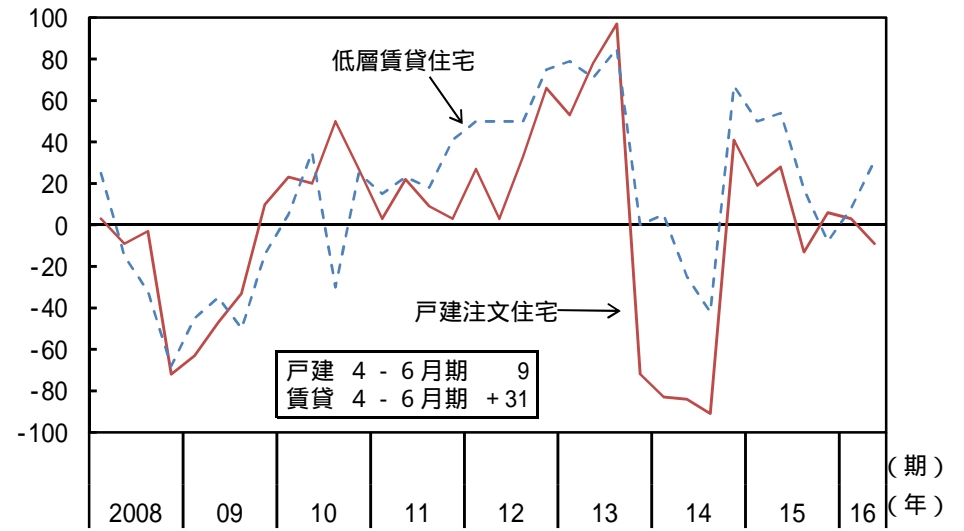
なお、「建築主が民間」とは、建築主別の「会社」、「会社でない団体」、「個人」の合計を、内閣府において季節調整したものである。

また、「工事費予定額平米単価」は、「居住専用+居住産業併用×0.7」の工事費予定額、着工床面積により算出した。

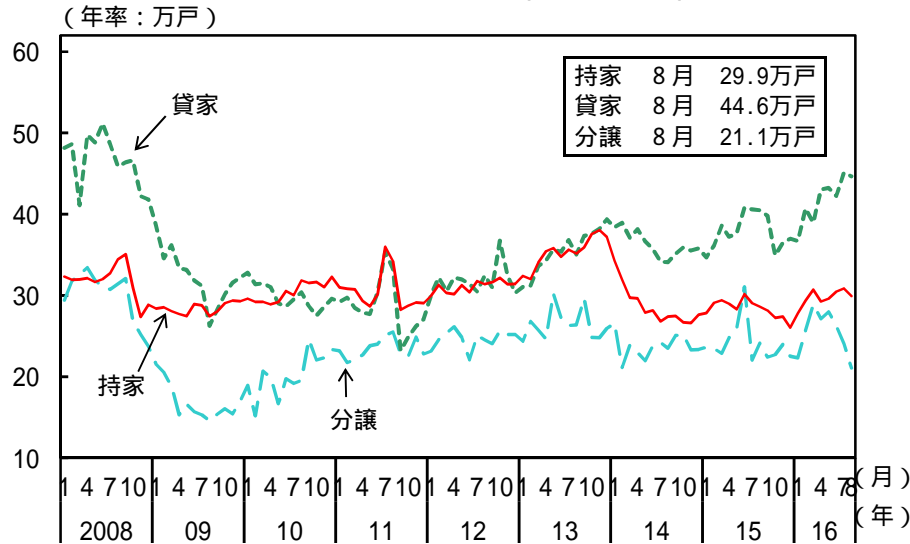
住宅着工戸数（季節調整値）



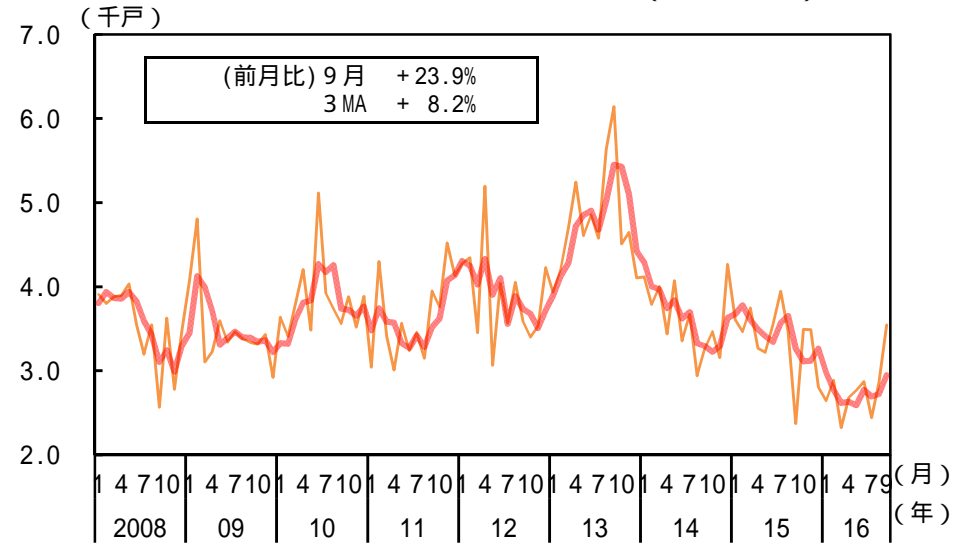
住宅景況判断指数（受注戸数）



利用関係別住宅着工戸数（季節調整値）



首都圏のマンション総販売戸数（季節調整値）



- (備考) 1. 国土交通省「建築着工統計」、(一社)住宅生産団体連合会「経営者の住宅景況感調査」、(株)不動産経済研究所資料により作成。
2. 住宅景況判断指数(受注戸数)は、住宅生産団体連合会の企業会員等18社の経営者を対象に、受注戸数の前年同期比(実績)について「10%程度以上良い」から「10%程度以上悪い」の5段階の評価に応じた評点により加重平均して算出した値(-100~+100)。
3. 首都圏のマンション総販売戸数は内閣府による季節調整値。太線は後方3か月移動平均。